

news 神戸市会にて令和6年度当初予算を可決しました

主な新規・拡充施策 一部掲載

子育て支援

市内高校への通学を無償化 12.3億円
現行の月12,000円を超える費用の1/2を補助から、9月より市内高校への通学を無償化

こべっこウェルカム定期便の開始 2.1億円
子どもが生まれた世帯に育児用品等を月1回、見守りを含めて計10回配達

低所得の子育て世帯への給付 25.2億円
令和6年度に新たに低所得となる世帯へ児童1人当たり5万円給付

高等教育の負担軽減の拡大 0.3億円
市内在住の高専生の授業料負担額を市内高校と同程度になるよう支援

児童館の利活用の推進 3.4億円
児童館の愛称「こどもっとひろば」の看板設置や子育てチャードバイザーの配置など

くらし

路上喫煙及びばい捨て対策 1.08億円
路上喫煙禁止地区における屋内型喫煙所整備補助の創設など

特命チームによる空き家対策 0.88億円
弁護士を含む特命チームを新設し、財産管理制度の積極的な活用による危険・所有者不明空き家の早期改善を促進

こうべ菜園プロジェクト 0.26億円
公園を活用した貸し農園「菜園」事業の実施

地域コミュニティ交通の支援制度の拡充 0.13億円
敬老福祉制度の地域コミュニティ交通への適用

神戸空港の国際化 178.7億円

駐機場拡張や新ターミナル整備、歩行者デッキの設計・検討など

市民支援

物価高騰に対する経済支援 170.5億円
定額減税や住民税均等割のみ課税世帯への10万円給付など

事業者支援

事業者の人材確保に対する支援 2.7億円
神戸市内企業住宅手当等支援補助金の創設(企業の住宅手当の1/2、月額1万円上限)など

その他

坂を活かしたブランディング戦略 0.55億円
坂の多い街神戸としてのブランディング戦略の検討と坂道における環境改善の推進

バスケットボールの振興 0.38億円
神戸ストークスの本拠地移転にあわせたバスケットボールの振興など

令和6年能登半島地震の被災地支援 1.05億円
被災地への職員派遣等の実施や市営住宅の無償提供

震災30年関連事業 2.7億円
神戸防災のつどい2025開催や神戸港震災メモリアルパークの展示改修など

「神戸で良かった!」と想える街づくりを目指します。

誇りを胸に未来を拓く神戸。

私たち、自由民主党神戸市会議員団は、神戸市民の皆様のお声を伺い、政策の実現に一丸となり取り組んでいます



自由民主党神戸市会議員団 団長 ご挨拶 平井 まち子

来年には阪神淡路大震災から30年を迎えようとする今、内外からの支援への感謝を忘れることなく、これからも神戸が世界に貢献できる活気と魅力にあふれる都市づくりを牽引することが私達自由民主党神戸市会議員団の使命です。少子高齢社会、物価高騰などの課題に立ち向かうためにも日頃市民の皆様からいただくお声、事業や福祉など様々な現場からのお声を予算案に反映すべく今市会でも議論を行ってききましたので、ご報告いたします。



▲要望懇談会や勉強会などを重ね、リアルな声を政策に反映させるよう努めています。

令和6年2月議会 3名代表質疑を行いました ※一部要旨

質疑者・しらくに 高太郎



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

「SDGs貢献都市神戸」の実現に向けて

Q 当初予算案では、「SDGs 貢献都市神戸」の実現に向けた施策も数多く計上されている。SDGs推進課も新設され、黒田新副市長の手腕により各局横断的な取組みがより強力に推進されると期待している。まずは、森林保全・整備や六甲山の環境改善などが中心になると考えるが副市長の決意を伺いたい。

A 最初は専門分野である森林を中心に取組んでいく。市域の約4割の2万ヘクタール以上が森林であり、その9割以上が広葉樹林である。また所有者の6割が私有林であるが、薪や炭が使われなくなったため、手入れがされず荒廃しつつある。伐採などの整備を行い、材により高い価値を持たせて活用し新たな木を育てるという循環を生み出す必要がある。そこで、市有林、その後私有林の資源を有効に活用する森林管理の実践、そして資源把握をしたいと考えている。また、様々な形で木材を使い切るカスケード利用の仕組みを実現させたいと考えている。

人口減少を踏まえた外郭団体のあり方について

Q 外郭団体のあり方も人口減少を踏まえたものに変わっていく必要がある。来年度はどのような見直しを検討しているのか。

A 中小企業では人材不足が深刻化する一方、就労意欲が高いシニア世代を積極的に活用できていない。そこで高齢者の就労意欲と雇用者側のニーズをマッチングさせる機能や支援体制をより強化するために、産業振興財団と神戸いきいき勤労財団の統合の検討を始めた。また神戸ハーバーランド株式会社について、より民間事業者主導の団体へ移行する検討などを行っている。

質疑者・うえなか 雅子



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

国際化へのまちづくりと空港の機能強化

Q 神戸空港が持つ能力を最大限発揮させ、国際化の効果が神戸のさらなる成長・発展に繋がるよう、国際化を見据えた今後のまちづくり戦略の構築や空港の整備、機能強化はどのように進めるのか?

【国際化に向けたまちづくり】

国際化する空港インフラを活用し、ビジネスや観光需要の創出、教育、住環境等、外国人にとっても、住み・学び・働きやすい環境整備と、大学と連携した留学生の受け入れ等を進める。若年人口や生産年齢人口の減少の中、海外からも人や物を取り込み、都市の成長に繋げたい。

【空港の機能強化】

エプロン等空港基本施設の拡張や新ターミナルの整備、新規エアラインの誘致や神戸市以西の市場開拓、広域交通ネットワークの構築に取り組む。

保育環境の充実について

Q 待機児童対策やこどもの遊び場拠点の整備等、本市が展開してきた切れ目のない子育て支援のさらなる充実策は?

- ①老朽改築事業の補助額の大幅増額(上限2.5億円→12億円)
- ②毎月の施設型給付費申請に係る事務負担の軽減
- ③4.5歳児の保育士職員配置基準の改善(30対1→25対1)
- ④民間児童福祉施設給与改善費補助を小規模保育事業等に拡充・拡大
- ⑤保育園における「すこやか保育」の県への補助制度拡充要望により、受け入れ児童が1人の場合でも月額78万円に引き上げられる。

質疑者・浅井 みか



▲令和6年2月21日(水) 本会議代表質疑にて

子育て/教育といえば神戸となる街に!

Q 子育て教育といえば神戸と言われ、子育て世代に選ばれる街を目指すべきと提案してきた。本予算案では、高校生の通学定期無償化、こべっこウェルカム定期便の新設等、我が会派が提案してきた子育て支援策が多く盛り込まれているが、どのような観点で子育て支援策の充実を図っていくのか。

A 妊娠出産期からの切れ目のない支援提供に努め、子育て教育の不安/負担軽減等の視点をこれまで以上に盛り込み、予算編成を実施した。以下が例:

- ① 市内高校に通う定期代無料化
- ② オムツ等の育児用品を計10回生後3ヶ月以降のお子さんのいるご家庭にお届けし、併せて声掛けなどの見守りを行うこべっこウェルカム定期便をスタート
- ③ 子ども誰でも通園制度の試行実施
- ④ 児童館へ子供子育てチャードバイザーの全館配置
- ⑤ 保育士配置基準の改善、保育士などの保育所などの老朽改築の促進
- ⑥ 病児保育施設や医療的ケア児受け入れ施設の拡充
- ⑦ こども家庭センターの体制強化、児童家庭支援センターの増設
- ⑧ こべっこ発達専門チームの東部地域への展開による発達相談支援体制の強化など

Q 国際都市神戸で子育てするうえで、経済力問わず英語教育の環境が充実した施設に子を預けられるのであれば、更に街として魅力的である。これまで保育所や学童保育において、看護師の配置を求めてきたが、加えてネイティブレベルの人材を配置するための補助などを検討できないか。

A 将来の国際感覚の基礎を築くことは非常に重要なこと。他都市の取り組み、保護者のニーズ、事業者の声もお聞きしながら、研究していく。

future KOBE

子育てしやすい街 神戸を目指して

神戸市は公園の整備を推進してきた結果、他都市と比較しても高水準の整備状況に至っています。皆様の日常生活に密接した「気軽に利用できる身近なオープンスペース」をこれからもご活用ください。

令和4年4月1日現在、20ある政令指定都市中、1人当たりの都市公園面積は、17.45㎡で1位。

TOPIC

東灘区

副幹事長

うへはた のりひろ

tel.050-3573-1204 fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com

脱中国依存を実現！
上海から神戸事務所撤退！

中国政府は不当に日本人駐在員を拘束しています。神戸市はそんな中で中国国内に税金を投じて上海に事務所を設置。その後、中国人職員の不正経理も発覚し、設立の経緯にも疑問のある事務所の撤退を議会で要求し、遂に上海から事務所撤退が決定！学校給食から中国産食材ゼロや神戸港と武漢港の覚書の失効に続き、脱中国を実現しました。

▲令和6年2月26日(月)
予算特別委員会質疑にて

東灘区

副政調会長

大野 陽平

tel.078-851-6996 fax.078-854-2300
yoheiohno11@gmail.com

海軍操練所跡は港、観光、
歴史的価値を最大限に活かすべき

【局長答弁】おっしゃる通り、港、市の発展の礎でもある貴重な史跡であり、観光面でも幕末のファン層は大変多い。まず神戸市指定の史跡を視野に取り組みたい。文化庁からも将来に残すべき重要な近代遺産だと評価されている。保存活用には様々な知恵も含めて、文化財としてもしっかりと見せられるように、可能性を研究してまいりたい。

▲令和6年2月28日(水)
予算特別委員会
文化スポーツ局審査にて

灘区

幹事・広報

吉田 健吾

tel.078-861-5566 fax.078-861-3456
gogo@yoshidakengo.jp

時代に応じた教育の提供と
事務局の組織体制

人口増加から減少へ時代背景が変わり、教員の多忙化対策をしつつ、個別最適な教育や先進的な教育の提供が求められます。動画パッケージでの授業運営、中高一貫校、いじめ等対応専門チームなど、今までにない取り組みを進め、個々の能力が最大限引き出される新しい神戸の教育環境が創られるよう、引き続き提案をしていきます。

▲令和6年3月6日(水)
予算特別委員会
教育委員会局別審査にて

灘区

浅井 みか

tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548
mail@asaimika.com

こべっこウェルカム定期便新設、
家事代行サービス拡充！

神戸市では保育園 / 学童が充実する一方でソフト面の子育て支援に機会がありました。子育て教育 No.1 を目指して決算特別委員会で要望しこの度、①各家庭の見守り機能を備え、産後におむつやミルクを配達する定期便の新設と、②一人 / 一家庭で子育てと仕事の両立に苦しめない社会を目指し産後家事代行サービスの補助拡充を実現しました。

▲令和5年9月29日(金)
決算特別委員会
こども家庭局審査にて

中央区

市会副議長

河南 忠和

tel.078-806-8633 fax.078-806-8653
kobe.kawanami@gmail.com

県市が力を合わせて元町駅の
バリアフリー実現を！

兵庫県と神戸市との間で政策の意見交換を行いました。私からは、JR 元町駅東口・西口のバリアフリー化の1日も早い実現と市役所2号館への国際的ラグジュアリーホテル整備実現への協力をお願いし、また5月に開催される神戸2024世界パラ陸上を成功させ、支えあう社会の実現に県市で頑張ってくださいとの発言を致しました。

▲令和5年12月25日(月)
兵庫県・神戸市調整会議にて

兵庫区

副政調会長

平野 達司

tel.078-531-8780 fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com

中央卸売市場活性化に
市組織全体横断的に取り組むべき

【局長答弁】中央卸売市場の役割を果たすための環境作りは非常に重要。物流の拠点性を高め機能を強化し、生産部門の農業振興、消費者に近い市場商店街への働きかけ、観光で域外消費の拡大で市場取扱量の拡大、生産量の拡大、全て繋がる事業。生産から消費まで観光を含め一貫通貫で経済観光局一丸となって取り組んで参りたい。

▲令和6年3月4日(月)
予算特別委員会
経済観光局審査にて

北区

全国市議会議長会会長 市会議長

坊 やすなが

tel.078-983-1711 fax.078-983-1719
yasunaga.bo@gmail.com

阪神淡路大震災時のご恩返しを！
全国市議会議長会会長に就任

能登半島地震において被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。私達は阪神淡路大震災を経験し、全国から多大なるご支援ご協力を頂き神戸は復興を成し遂げました。次は神戸から全国に貢献し恩返しをとの思いで昨年6月全議会議長に立候補し選出頂きました。神戸の名に恥じないよう強い思いを持って誠実に事にあたっております。

▲令和6年3月9日(土)
石川県輪島市役所
全議会議長贈呈式

北区

五島 だいすけ

tel.078-322-5846 fax.078-322-5548
mail@goto-daisuke.net

クリーンセンターで発電した
電力を自己託送し収入増を

【五島】発電した余剰電力を電気事業者の送配電ネットワークを介し本市施設へ送る自己託送、市の収入増への効果は？【部長答弁】発電した電力を自己施設に供給する(買電しない)ため今回西グリーンセンターで開始する取り組みで電気料金1億5千万円の削減効果を見込む。【五島】水道代平代が上がる中、取り組みを拡大し市民に還元するように。

▲令和6年2月26日(月)
予算特別委員会 環境局審査にて

北区

政調会長

うえなか 雅子

tel.078-583-8060 fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

区役所窓口
外部委託化の成果は？

先行実施区の兵庫・北神・長田・西の区役所では、接遇面等で評価を得ており、市民サービスの水準は確保できてはいるものの、想定以上の委託人件費の高騰が続く今後の他区展開は見送るとの事。令和7年・令和9年の契約更新時期に於いては、スリムで持続可能な業務体制維持の為、直営の選択も視野に、妥当性のある運営をすべき。

▲令和6年3月5日(火)
第4委員会室 地域協働局質疑にて

長田区

団長

平井 真千子

tel./fax.078-643-0647
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

子供達の健全育成と
地元経済を応援！

予算特別委員会において、こども家庭局には幼児の特別支援教育について、経済港湾局にはファッション産業の振興、小売市場を消滅させないための支援について、教育委員会には黙食の問題点、小学校での虫歯予防についてを質疑。子供達の健やかな育ちと、次世代に魅力ある神戸を引き継ぐことをテーマに取り組んでいます。

▲令和6年3月6日(水)
予算特別委員会 教育委員会審査にて

須磨区

むらの 誠一

tel.078-739-8889 fax.078-739-8887
mail@murano.gr.jp

クリーンステーション管理の
負担軽減を実現しました！！

令和6年4月よりゴミ収集後の掃除やカラス対策ネットの片付けを環境局の職員が行います！！

▲令和5年5月25日(木)
5月議会 一般質問にて

垂水区

幹事長

しらくに 高太郎

tel.078-704-6060 fax.078-709-5252
info@shirakuni.net

市内大学と連携し経済政策の
検証と研究をすべきと考えるが。

【市長答弁要旨】昨年7月に神戸大学と経済観光局で経済施策の立案・検証に経済学的知見を反映することを目的に連携協定を締結した。大学の知見の活用を通じて経済政策に係る検証・研究に取組み、神戸経済の持続的な成長と活性化につなげて参りたい。大学連携については、アカデミア出身の黒田副市長のアドバイスも受けながら適切に進めて参りたい。

▲令和6年2月21日(水)
本会議 代表質疑にて

垂水区

副幹事長

岡田 ゆうじ

tel.090-9259-1555 fax.078-330-2335
mail@okadayuji.net

一旦閉鎖が確定した
「UNITY 市民講座」の存続

一旦閉鎖が確定した神戸研究学園都市大学交流推進協議会の UNITY 市民講座について、存続を求める受講生1,111筆の署名を、受講生代表らと共に市に提出。2023年12月7日の本会議において、岡田ゆうじ議員より改めて UNITY 市民講座の存続を求めたところ、神戸市外国語大学を実施主体として、全語学講座が2024年4月以降も存続することに。

▲令和5年12月7日(木)
本会議にて

西区

坊池 正

tel.078-965-0400
bouike@nifty.com

神戸市危機管理対応と災害時等に
おける緊急時食の確保等について

大規模災害等における初動時対応で緊急援助隊救助チームとDMATO医療チームの連携活動で要救助者の救命率の向上を図る。また、大規模災害時等の緊急食確保に、「BE KOBE」表示の市内産農産物を最大限活用して避難民の食事と健康維持管理に努め、避難所等での安心感の確保に努めるとともに市内産農産物の活用で温かい食事提供を。

▲令和6年2月29日(木)
予算特別委員会 第2分科会
危機管理室質疑にて

西区

幹事・会計

山口 由美

tel./fax.078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com

新生児の搬送体制の構築

【山口】神戸で安心して出産し、生まれた子が命を落とすことなく、適切な医療につながり、出産を支える医療機関の不安や負担を減らす体制を作ってほしいです。【局長】神戸市の現状を把握し、関係者のご意見を聞きながら、議論を進めていきます。

▲令和6年2月28日(水)
予算特別委員会 第2分科会
健康局審査にて

西区

山下 てんせい

tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849
https://www.yamashita-tensei.com

農業公園の再整備の予算の
記載が無いが、大丈夫ですか？

【局長答弁】農業公園は従来の食と農に加え、SDGsの推進の観点で新たな施策を創出し、既存施策の見直し・改善を行っていく。耕作放棄地をはじめとする里山地域の課題解決や里山資源を生かした新事業など、新たな事業創出を目指す。スケジュールの関係で当初予算の確保ができていないが、計画、募集と進めるための予算確保に努めていく。

▲令和6年3月4日(月)
予算特別委員会 経済観光局審査にて